

平成25年行政事業レビューシート（外務省）										
事業名	アジア開発銀行（ADB）拠出金 （任意拠出金）			担当部局庁	国際協力局			作成責任者		
事業開始・ 終了（予定）年度	平成22年度開始			担当課室	アフガニスタン支援室			室長 原 圭一		
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅶ－3 国際機関を通じた地球規模の諸課題に係る国際貢献					
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	外務省設置法第4条第3号			関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 （目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内）	アフガニスタンが自立的な経済運営と持続可能な開発を進めていくためには、パキスタンや中央アジア等周辺諸国との連結性を高め、地域経済に統合されていくことが不可欠。本件拠出金を通じて、交通・エネルギー等アフガニスタン国内のインフラを整備することにより、豊富な資源を有する中央アジアから、海港があり市場規模の大きいパキスタンにかけて、物資・エネルギーの安定的な供給が可能となり、アフガニスタンを中心として南アジアから中央アジアにかけての広域な地域で経済活性化が期待される。									
事業概要 （5行程度以内。 別添可）	1 アフガニスタンの首都カブールとパキスタン北西部の中心都市ペシャワールを結ぶ幹線道路について、そのアフガニスタン側における一部区間を整備することにより、内陸国であるアフガニスタンがインド洋に抜けるための輸送ルートを整備する。また、道路整備を通じて雇用を緊急に創出するとともに、インフラの管理監督のための中央政府のガバナンス強化を図る。 2 トルクメニスタンからアフガニスタンに電力供給するため、トルクメニスタン国境沿いのアンドイからアフガニスタン北部のマザリシャリフの間に送電網を整備する。これは将来、首都カブールまで電力供給を行うための導入部分となる。									
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他									
予算額・ 執行額 （単位：百万円）	予算 の 状 況		当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
			補正予算	1,880	4,450	3,240				
			繰越し等	—	—	—				
			計	1,880	4,450	3,240				
	執行額		1,880	4,450	3,240					
	執行率（％）		100	100	100					
	成果目標及び成 果実績 （アウトカム）	成果指標					単位	22年度	23年度	24年度
【成果目標】アフガニスタンにおける交通網及び送電網の整備 ※成果目標の達成を測る参考指標の一つとして、ADBの複数 年度資金拠出計画（2011年9月承認）におけるアフガニスタン の道路網、送電網の整備状況				成果実績	計画を承認	計画に着手	交通網：道路578kmのうち 50km完成、95km建設中 送電網：承認段階			
				達成度	％	—	—	—		
活動指標及び活 動実績 （アウトプット）	活動指標					単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	(1)カブール・ペシャワール間の幹線道路の一部（約156km区 間）の整備（22、23、24年度） (2)アンドイ・マザリシャリフ間の送電網の一部（約250km区 間）の整備（24年度）				活動実績 （当初見込 み）	理事会承認、入札準 備 （ ）	業者契約、整備開 始、実施 （ ）	(1)50km完成 (2)建設未着手 （ ）	— （ ）	
単位当たり コスト	(1)道路1kmあたり1.25百万ドル（1億250万円） (2)送電網1kmあたり0.8百万ドル（6560万円）				算出根拠	整備対象区間の建設コストを距離で割ったもの				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
計										

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	アフガニスタンを自立させ、周辺地域との経済的連結性を高めることは、国際テロ等の脅威の低下を通じて広く国民生活に安心をもたらすものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	アフガニスタン国内における大規模インフラ事業の計画及び実施はADBが主導しており、ADBが管理する基金に各国が拠出することで、ドナーが個別に行う場合に比べて、より大規模な事業を一層効率的に実施することができる。そのため、同基金が2010年に設立されてから、拠出国、拠出を検討する国が増えている。事業計画については、我が国も参加するADB理事会において承認され、実施状況も定期的に報告されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	我が国は、1990年代からパキスタンにおいて円借款による道路整備事業を実施しており、ADBの基金を通じたアフガニスタンでの事業と連動して、一層の経済効果が期待できる。また、2012年7月のアフガニスタンに関する東京会合で我が国が表明した10億ドルの地域協力の貢献策の一部として、広報効果を上げた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	事業実施地域の治安情勢は予断を許さず、事業の進捗状況についてリアルタイムで詳細に把握することは容易でないが、我が方の照会に対してADBは逐次誠実に対応しており、必要な情報は提供されている。また、現地事務所及び本部とも我が国の支援内容を把握し、連携して我が国拠出金を活用した事業の実施状況をフォローしており、事業が適切に管理されていると評価できる。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	69	平成24年	92